



広島県支部会報



平成 26 年 6 月 15 日

第 64 号 おのみち防災リーダー育成講座

日時：6 月 15 日（日）13 時～16 時 30 分

場所：尾道市消防局 6 階多目的研修室

主催：尾道市生活安全係

支援：日本防災士広島県支部南東部地区（防災講演）

参加者：36 人 尾道市防災リーダー

講座概要：

1. 防災講話（15 日（日）13 時～14 時 30 分）
演題： 尾道市を襲う「南海トラフ巨大地震！」
— 防災リーダーへの期待 —
講師：日本防災士会広島県支部 桑木光信
2. 避難所運営訓練 HUG （15 日（日）14 時 30 分～16 時）
指導： 尾道市総務課生活安全係
3. 防災リーダー修了証書授与

講座内容：

1. 防災講話要旨：

「南海トラフ巨大地震」は国家的防災課題であり、西日本は十分な取り組みが必要である。特に防災リーダーへの期待は大きく、地域防災への自覚と啓発活動ポイントを把握し防災活動を促進する事が大切である。

防災リーダーとしての活動に際し、知って貰いたい 7 項目を話した：①「東日本大震災の教訓」②南海トラフ巨大地震」の被害予想 ③尾道市の被害想定の内容 ④地震と津波の大切な要語の意味 ⑤尾道市の津波浸水域 ⑥命を守る最小限の知識と行動 ⑦避難所生活の心構えと運営などを具体的に話した。特に尾道市の地域に関わる内容に注意した。また瀬戸内海に位置する広島県に対する津波被害が従来公表値に比べて大きく想定されている。防災リーダーはその内容を正しく理解する事が重要である。対象地域で具体的説明、最大震度 6 強、津波高さ 3.5m、死者・行方不明者数 1,740 人、建物全・半壊棟数 37 千棟、避難生活者 25 千人強等、過去に経験ない大きな被害が想定されている事を住民の皆さんが理解する事から防災活動は始まる。

日頃の防災意識、地域協力、防災訓練がなければ、「南海トラフ巨大地震」の発災に対して防災・減災・安全は確保できない。想定被害を軽減するには、日頃の地域の防災力の積み重ねが重要です。そのため地域の自主防災組織の拡大、住民の防災意識の

向上と防災訓練の積み重ねが必要です。いま、防災リーダーによる啓発活動、防災訓練の支援・指導が期待されています。

2. 避難所運営 HUG 訓練：

大災害が起こると多くの被災者が生じ、命は守ったものの自宅は被害をうけ住む事が出来ず、避難所に集まる人が多い。

発災後、地域の多くの避難者の収容から避難所の混乱が予想されるので、初期対応と運営を出来るだけ円滑に、満足な仕分け、避難所配置ができるよう訓練した。

避難所の組織づくり、避難空間づくり、災害時要援護者への対応など訓練を通して課題など模擬体験を行った。

今回の訓練では進行役1名、6地区構成とし、各地区は6人のプレーヤー（参加者）でHUG訓練が実施された。

進行役は避難者が避難所に来た時の状況を読み上げ、6地区のプレーヤーが避難者の状況に応じて避難所のどこに位置してもらうか配置を決める。

避難者一人の占める面積は3.0㎡（2m×1.5m）、通路の確保、様々な被災事情を持った人が避難所に来る。

被災者はそれぞれ事情を抱えた人がいるので、出来るだけ迷惑を掛けないような仕分けや配置が必要である。避難者の事情によっては別室にする必要がある人、身障者、車椅子の人など。またペットの扱い、等・・・避難者の苦情の出ない配置、事前の配慮が必要である。

避難所ではお互いに協力し、我慢をし、助け合って生活できる配置が出来るような環境をつくることに取り組む。

この訓練は大変実践的で訓練効果の高いものであった。（後段の写真参照）

3. 総評：

避難所での生活は大災害が起こると必ず遭遇する場面であり、実際に起こる避難者の苦しい状況を聞いたうえで避難所内の配置を決めることになる。地域の役員がどう対応するか適切判断が必要な訓練であり、実践的であった。

また今回の訓練によって出てきた課題や反省事項を今後に備えておくことは有益なことである。毎年訓練しておくことが重要である。

あとがき：今回開催された“おのみち防災リーダー育成講座”は地域の防災に理解を持ち、今後起こると予想される「南海トラフ巨大地震」に積極的に取り組もうとされる防災リーダーの皆さんの熱心さと力強さを感じた。今後多くの地域住民に向けて啓発活動を進められることを期待する。

（広報担当 桑木）

写真記録：

防災講演の様子：



(1) 防災講演の様子



(2) 防災講演を聞く参加者

難所運営 HUG 訓練の様子：



(3) 地域毎の HUG ワークの様子
避難者の情報を聞き、仕分けを協議



(4) 同左
避難者の事情に応じたグループ分け
や避難所内での効率的な配置を協議



(5) 避難者の事情を考慮した効率的配置になっているか確認、協議



(6) HUG 訓練終了後の発表の様子
作業の中で・難しかった点・良かった点、
他グループの参考点などを纏め報告



総評：地域防災リーダーを目指す人達だけあって避難所運営に取り組む姿勢が積極的、実践的であり、有益な訓練だった。

防災リーダー修了書授与と集合写真



防災リーダー修了書授与



講座終了後参加者の集合写真